

**第4回上下水道事業運営審議会 資料2**  
**「検討ケースのまとめ」(p68～p74)について**

**1. 表記形式の変更について**

第3回審議会でお示しした資料と比べ、以下の点で変更等を行っています。

- (1)表の上から4行目、「従量料金」に逓増度を表記
- (2)表の上から2段目(色付きセルの上から2つ目)、「料金表」の基本料金の表に口径200mmを追加  
 ⇒口径200mmは市内の某団地に親メーターとして設置されている1カ所のみしかなく、さらに水道料金は口径200mmではなく、親メーターに紐づく子メーター(口径20mm)でかかるため、料金徴収の実績がなく今まで表記されていませんでした。  
 しかし、現行の料金体系に設定があり、今後、設置の可能性がないわけではないので、他の口径と同じ方法で算定し、設定するのが適当であるとして表記しています。
- (3)表の上から3段目、「料金体系シミュレーション検証結果」の5行目、比率の一番右側に水道料金全体から見た改定率を表記しています。
- (4)色付きセルの最下段、「現行料金に対する料金差」の口径20mm・使用水量20m<sup>3</sup>を太枠で囲む表記を行っています。
- (5)4段目以下でお示しする料金や比率について、比較を容易に把握できるように、数値に応じて各セルに段階的に着色を行っています。

※ 口径別・代表使用水量の各ランク別の件数およびその割合について、資料4ページ「表1.2 R4(2022)年3月実績の使用者件数と割合」で表記しています。

**2. 検討する各ケースの概要について**

今回の審議会でご提示するケース案の概要は以下のとおりです。

	左 側	真ん中	右 側
1 枚目 (p 68)	3 前回提示 [6.40] ≪ 3 は基本：従量=22：78 ≫	4 前回提示 [6.64] ≪ 4 は基本：従量=23：77 ≫	5 前回提示 [6.88] ≪ 5 は基本：従量=24：76 ≫
2 枚目 (p 69)	3－a 逓増半分 [3.16]	3－b 逓増半分 [3.16] (小口低下・大口上昇)	3－c 逓増半分 [3.16] (小口低下・大口上昇【軽減】)
3 枚目 (p 70)	4－a 逓増半分 [3.15]	4－b 逓増半分 [3.15] (小口低下・大口上昇)	4－c 逓増半分 [3.15] (小口低下・大口上昇【軽減】)
4 枚目 (p 71)	5－a 逓増半分 [3.16]	5－b 逓増半分 [3.16] (小口低下・大口上昇)	5－c 逓増半分 [3.16] (小口低下・大口上昇【軽減】)
5 枚目 (p 72)	3－a' 逓増▲1 [5.31]	3－b' 逓増▲1 [5.31] (小口低下・大口上昇)	3－c' 逓増▲1 [5.31] (小口低下・大口上昇【軽減】)
6 枚目 (p 73)	4－a' 逓増▲1 [5.31]	4－b' 逓増▲1 [5.31] (小口低下・大口上昇)	4－c' 逓増▲1 [5.31] (小口低下・大口上昇【軽減】)
7 枚目 (p 74)	5－a' 逓増▲1 [5.29]	5－b' 逓増▲1 [5.29] (小口低下・大口上昇)	5－c' 逓増▲1 [5.29] (小口低下・大口上昇【軽減】)

※ [ ] は逓増度を示す。

※逓増半分、逓増▲1…ケース3を基準とし、逓増度を半分または1ポイント程度減としたもの。

小口低下・大口上昇…逓増半分または逓増▲1で、基本料金を小口径(13mm・20mm)で軽減し、大口径(25mm以上)で増額したもの。

小口低下・大口上昇【軽減】…小口低下・大口上昇では大口の「現行料金に対する料金差」が大きいため、大口径の基本料金を軽減したもの。